

輸入検疫で発見された主な病害虫

昭和61年に輸入検査を実施した植物類は1013千件に及ぶ。このうち病虫害の付着により消毒措置を行ったものが155千件、廃棄処分は8千件であった。

輸入禁止品は55千件で、すべて廃棄処分とした。

これらの輸入植物などから発見された重要な病虫害は、別表のとおりである。

	発 見 病 害 虫	寄主植物別発見回数	輸出国別発見回数
禁 止 対 象 害 虫	<i>Ceratitis capitata</i> (チチュウカイミバエ)	マンゴウ生果実(1)、ミカン生果実(1) アンス生果実(1)	トルコ(1)、エジプト(1)、フランス(1)
	<i>Dacus dorsalis</i> (ミカンコミバエ)	マンゴウ生果実(72)、パシジロウ生果実(22) レイシ生果実(13)、他26種(63)	台湾(54)、フィリピン(40)、タイ(33) 他9ヶ国(43)
	<i>Dacus cucurbitae</i> (ウリミバエ)	ニガウリ(5)、ヘチマ(1)、メロン(1)、 リュウカン(1)、ササゲ(1)	台湾(3)、フィリピン(3)、タイ(2) インド(1)
	<i>Dacus tryoni</i> (クインスランドミバエ)	スモモ(1)	オーストラリア(1)
	<i>Cylas formicarius</i> (アリモドキゾウムシ)	サツマイモ(2)	中国(1)、台湾(1)
	<i>Cydia pomonella</i> (コドリジガ)	リンゴ(1)	アメリカ(1)
特 定 重 要 病 害 虫	<i>Guignardia citricarpa</i> (カンギツ黒星病)	オレンジ生果実(3)	オーストラリア(3)
	<i>Colletotrichum capsici</i>	トウガラシ生果実(14)、トウガラシ乾果(4) コダチトウガラシ生果実(3)、トウガラシ種子(1)	タイ(12)、インドネシア(2)、台湾(2)、 マレーシア(2)、他4ヶ国(4)
	<i>Anastrepha fraterculus</i> (ミナミアメリカミバエ)	カキ生果実(1)、マンゴウ生果実(1)	ブラジル(1)、メキシコ(1)
	<i>Hypera postica</i> (アルファルファタコゾウムシ)	ザクロ生果実(8)、タマネギ(3) ブドウ生果実(2)、他3種(4)	アメリカ(17)
	<i>Diabrotica undecimpunctata</i> (ジュウイチホシウリムシ)	サマースカッシュ生果実(1)、グラスファアー(1)	アメリカ(2)
	<i>Otiiorhynchus sulcatus</i> (キンゲクチブトゾウムシ)	グラスファアー(1)	アメリカ(1)
	<i>Pantomorus cervinus</i> (フラバランゾウムシ)	カンギツ類生果実(20)、切花(1)	アメリカ(19)、ニュージーランド(1)、ハワイ(1)
	<i>Dendroctonus ponderosae</i> (アメリカマツノキウイムシ)	マツ類(9)	アメリカ(8)、カナダ(1)
	<i>Scolytus scolytus</i> (ヨーロッパニレノキウイムシ)	ニレ(1)	フランス(1)

◆海外のニュース◆

作付体系に適應するネフイムシ

アメリカ合衆国におけるトウモロコシの害虫であるネフイムシ(ハムシ科の一種: *Diabrotica barberi*) は、年一回の発生で、卵で越冬し、幼虫はトウモロコシの根を加害する。寄主範囲が非常に狭いため、20世紀前半までは、4年に1回トウモロコシを栽培し、その間にはダイズ、カラスムギ、クローバーなど寄主植物以外の作物を栽培する輪作が効果的な防除法とされていた。

その後、殺虫剤を使用する防除によって毎年トウモロコシを栽培することも行われたが、経済的な理由によって、現在では1年おきにトウモロコシを栽培し、その間には寄主植物でない植物、例えばダイズなどを栽培している。しかし、この輪作地帯において、しばしば本虫による被害が認められるようになってきた。

アメリカ合衆国北部のトウモロコシ輪作地帯の本虫の卵の休眠に関する調査を行ったところ、約半数は2年にわたる休眠を行った。これに対して

輪作していないところから得られた卵では、9%であった。

この輪作地帯における不規則な被害の原因は卵期の休眠期間が輪作の作付体系に適應して延長したためであると説明されている。*

耕種的防除法としての輪作は一般に取り入れられているが、本虫の場合輪作を行うことによって、2年にわたる卵休眠を行う系統の出現率を高める結果となってしまった。また、このような休眠期間の延長は、人為的な環境の変化に対する昆虫の適應的進化の一例であろう。

*Bull. Entomol. Soc. Am. 32: 250-253 (1986)

発 行 所 横 浜 植 物 防 疫 所
〒231 横浜市中区北仲通5-57(横浜農林水産合同庁舎) ☎045(211)2299
発 行 人 小 畑 琢 志
編集責任者 長 尾 記 明
印 刷 所 内村印刷株式会社
〒231 横浜市中区末吉町1-12 ☎045(261)7961